

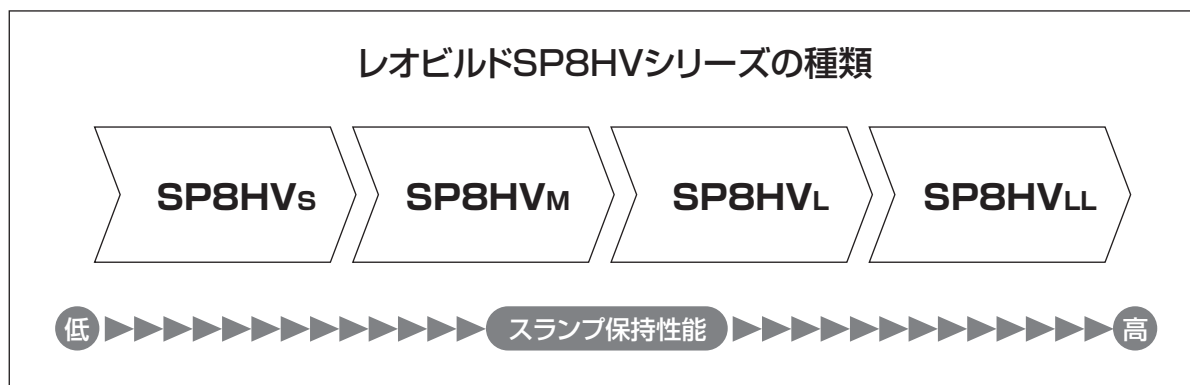
レオビルド[®] SP8HV シリーズ

RHEOBUILD[®] SP8HV series

ポリカルボン酸エーテル系 高強度コンクリート用高性能 AE 減水剤

高強度コンクリートが日常的に施工されるようになり、今日の高性能 AE 減水剤には高い減水性ばかりでなく、様々な性能が求められるようになってきました。例えば製造においては練混ぜが早く、かつスランプおよびスランプフローの変化が小さいことが望まれています。また、施工面では粘性が低く、作業性、ポンプ圧送性に優れたコンクリートが要求されています。

レオビルド SP8HV シリーズは、このような高強度コンクリートの要求性能を満足させることができる新しいタイプの高強度コンクリート用高性能 AE 減水剤で、スランプ保持性能の異なるレオビルド SP8HV_S・SP8HV_M・SP8HV_L・SP8HV_{LL} の 4 種類があります。施工時期、セメントの種類、流動性の保持時間など、コンクリートの使用条件に応じて種類を選定してください。



特長

1. 優れたセメント分散効果により練混ぜ時間を短縮できます。
2. コンクリートの粘性を大幅に低減できます。
3. 流動性を長時間保持することができます。
4. 経時に伴う粘性の増大を抑えます。
5. ポンプ圧送性や施工性を大幅に改善します。
6. 凝結遅延性が小さく、作業効率を向上します。

主成分および物性

種類	主成分	外観	密度 (g/cm ³ , 20°C)	全アルカリ量* (%)	塩化物イオン量* (%)
SP8HV _S	ポリカルボン酸エーテル系化合物	赤褐色液体	1.04~1.11	1.0	0.00
SP8HV _M				1.1	0.00
SP8HV _L				1.1	0.01
SP8HV _{LL}				1.2	0.01

*全アルカリ量、塩化物イオン量は分析値例です。

使用量と使用方法

1. レオビルドSP8HVシリーズの標準的な使用量は、セメント質量に対して1.0%ですが、使用目的に応じて0.5～4.0%の範囲でご使用ください。
2. レオビルドSP8HVシリーズには、スランプ・スランプフローなどの保持性能が異なるS・M・L・LLの4タイプがあり、S<M<L<LLの順に保持性能が高くなります。
 なお、コンクリートのスランプ保持性能や混和剤の使用量等は、配(調)合・材料・練混ぜ・温度などの諸条件により変化しますので、下表を参考にタイプと使用量を選定してください。

タイプ		SP8HV _s	SP8HV _M	SP8HV _L	SP8HV _{LL}
適用時期	冬 期	◎	◎	○	○
	標準期	◎	◎	◎	○
	夏 期	○	○	◎	◎
標準的な使用量 (%)		1.0			
使用量の推奨範囲 (%)		0.5～4.0			

3. レオビルドSP8HVシリーズは、単位水量の一部として水に混合してご使用ください。

高強度コンクリートにおける試験結果例

セメント	普通ポルトランドセメント(密度: 3.16g/cm ³) 低熱ポルトランドセメント(密度: 3.21g/cm ³) 中庸熱ポルトランドセメント(密度: 3.22g/cm ³)
細骨材	陸砂(表乾密度: 2.58g/cm ³)
粗骨材	砂岩碎石(表乾密度: 2.66g/cm ³)

セメントの種類	W/C (%)	単位量 (kg/m ³)		SP8HV _M 使用量 (%)	スランプフロー (cm)	50cm フロー時間 (秒)	空気量 (%)	圧縮強度 (N/mm ²) *			
		W	C					7日	28日	56日	91日
普通	32.0	170	531	1.2	62.0	5.6	2.0	69.8	85.2	93.1	102
低熱	33.0	165	500	1.0	63.0	4.2	2.0	40.1	77.1	94.1	103
中庸熱	33.0	170	515	1.1	61.0	3.7	2.1	55.2	82.7	94.6	103

* 標準養生

空気量の調整方法

「レオビルドSP8HVシリーズ」には、空気連行性の異なるAのついたタイプ(A₁、A₂～A_n)があります。「n」の値は、1つ増すごとに空気量が0.3～1.0%程度順次多く連行するように調整されておりますので、所要の空気量が得られるよう試し練りによってAタイプを決定してください。なお、基本タイプでも空気量が過大となる場合には、低空気連行タイプ(X₁～X₄)があります。

また、良質なAE剤の適量をレオビルドSP8HVシリーズとは別途に計量して空気量を調整する方法がありますので、当社セールスマンにご相談ください。

使用および取扱上の注意事項

1. 本商品を推奨使用量の範囲外で使用する場合は、あらかじめ試し練りで性状を確認するか、当社セールスマンに別途ご相談ください。
2. 本品は、他の混和剤や雨水・異物等の混入がないように、また凍結しないように（凍結温度：－1℃）保管してください。
3. 凍結した場合には、暖めながら静かにかくはんし、融解させてからご使用ください。
4. 取扱いに当たっては、保護メガネ、ゴム手袋などの保護具を着用してください。
5. 目に入った場合は、速やかに清浄な水で十分洗眼した後、専門医の診察を受けてください。
6. 飲み込んだ場合は、多量の水を飲ませ、専門医の診察を受けてください。
7. 皮膚に付着した場合は、速やかに水で洗い流し、必要に応じて専門医の診察を受けてください。
8. 廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた処理業者に処理を委託してください。
9. 使用及び取扱いの前に、当社の製品安全データシート(MSDS)をお読みください。

荷姿

21kgポリ内装箱／210kgドラム缶／バルク

※本商品についてのお問い合わせは、本社混和剤営業部または最寄りの支店・営業所までご連絡ください。

BASF ポズリス株式会社

本 社 東京都港区六本木6丁目10番1号 混和剤営業部 TEL 03-3796-9870 FAX 03-3796-9980
六本木ヒルズ森タワー 21階 建材営業部 TEL 03-3796-9850 FAX 03-3796-9980

仙台支店 TEL 022-224-1631 FAX 022-224-1634 大阪支店 TEL 06-4964-7240 FAX 06-4964-7244
東京支店 TEL 03-3796-9900 FAX 03-3796-9960 福岡支店 TEL 092-481-1271 FAX 092-481-1273
名古屋支店 TEL 052-220-1113 FAX 052-220-1713

札幌営業所 TEL 0123-88-1245 FAX 0123-88-1061 横浜営業所 TEL 045-211-0485 FAX 045-211-0487
宇都宮営業所 TEL 028-621-5261 FAX 028-621-5263 静岡営業所 TEL 054-254-2514 FAX 054-254-2515
千葉営業所 TEL 043-266-6181 FAX 043-266-6183 広島営業所 TEL 082-543-2520 FAX 082-543-2505
上越営業所 TEL 025-524-1777 FAX 025-524-3852 高松営業所 TEL 087-833-0271 FAX 087-833-0218
(松本金沢事務所) 鹿児島営業所 TEL 099-263-8740 FAX 099-263-8741

www.pozzolite.basf.co.jp

●ロゴ・マークならびに弊社の混和剤・床材・グラウト材・補修材をはじめとする各種建設材料の商品名に®マークを付記したものは、BASF社の登録商標です。

●ここに記載された事項は、標準的な試験法に準拠した弊社の実験データにもとづくものでありますが、多岐にわたる条件下での実際の現場結果を確実に保証するものではありません。

●万が一、本資料に提示する以外の方法や分野で本商品をご使用頂く場合には、ご使用者側にて調査検討下さいませようお願い致します。

●本記載事項は、新しい知見により予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

●BASFポズリス株式会社は開発・技術センターと茅ヶ崎工場及び堺製造センターでISO9001を、また開発・技術センターと茅ヶ崎工場においてISO14001を審査登録しています。

